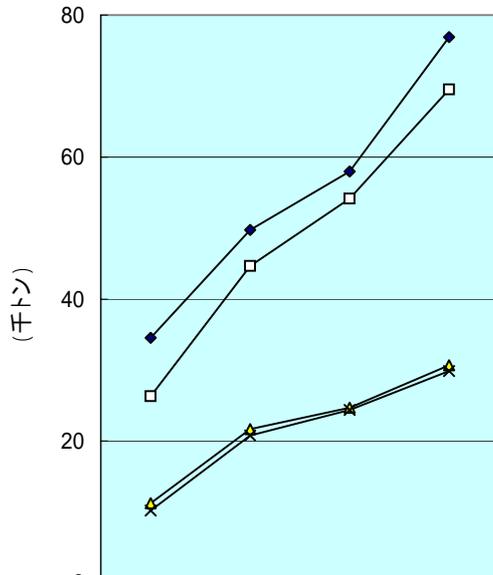


6. 紙製容器包装

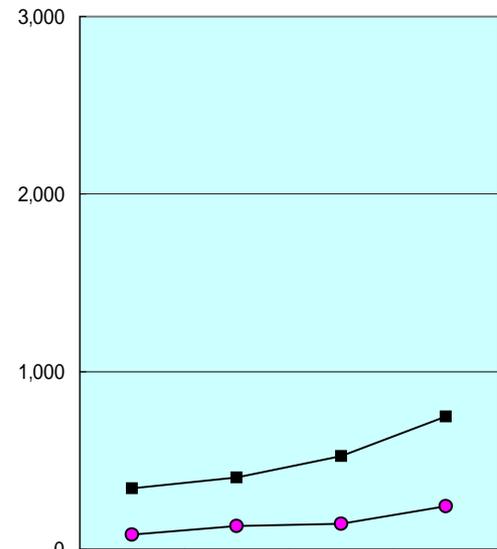
未だ低いレベルであるものの、増加傾向にはある。
 ガラスびんと同様に、市町村独自再商品化の割合が多い(平成14年度市町村独自再商品化割合は54%)。

【再商品化量推移】



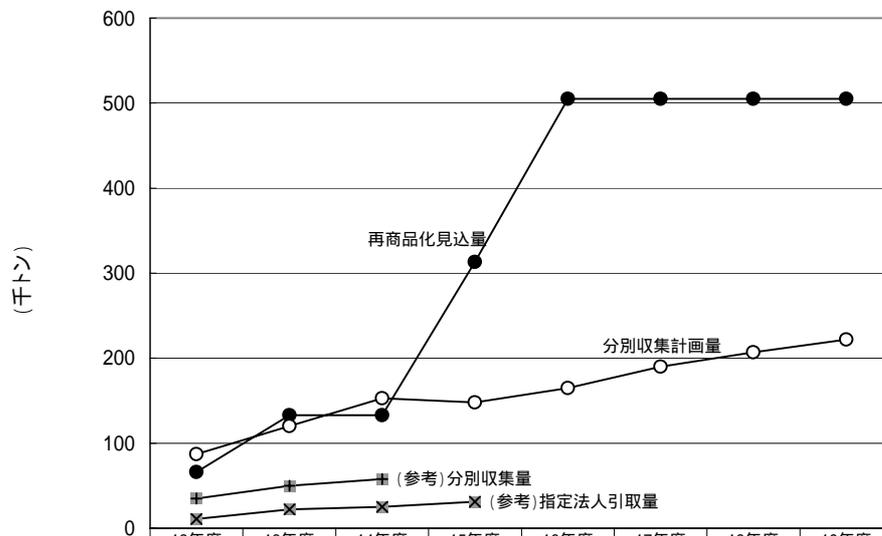
	12年度	13年度	14年度	15年度
市町村分別収集量	35	50	58	77
市町村再商品化量	26	45	54	70
指定法人引取量	11	22	25	31
指定法人製品販売量	10	21	24	30

【実施市町村数推移】



	12年度	13年度	14年度	15年度
分別収集市町村数	343	404	525	748
指定法人引取数	83	131	143	243

(参考)再商品化見込量、分別収集量の推移



	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
再商品化見込量	66	133	133	313	505	505	505	505
分別収集計画量	87	120	153	148	165	190	207	222
(参考)分別収集量	35	50	58					
(参考)指定法人引取量	11	22	25	31				